

森林事務所

森林事務所で働く森林官は、地域の森林を最も近くで見て、作り上げていきます。

森林官の
しごと



KONAKAHARA AOI 小中原 葵

九州森林管理局 宮崎森林管理署
田野森林事務所
森林官
平成19年採用 一般職(林業)

森林と人、人と人を繋ぐ仕事

森林官は国有林を最前線で管理するために、林内をひたすら歩き、巡視や調査を行います。また、不法投棄・誤伐等防止や、境界管理のためのパトロールも行います。地域の方からの様々な相談に対応するのも森林官の重要な仕事です。業務が多岐にわたり、幅広い知識が必要となりますが、森林と人、人と人を繋ぐやりがいのある仕事です。

森林事務所では、年間を通して森林の調査・管理、請負事業の監督等を行っています。雨の多い地域のため、天候により、思うように作業が進まないこともありますが、自然が相手であることから、焦らず取り組むようにしています。台風や大雨によって、山の被害が想定される場合は、迅速に調査を行います。基本は、体力仕事ですが、近年、デジタル化も進み、ドローンによる調査も行っています。



山に入る際の装備品

自分の仕事が森林として残る

森林事務所では様々なことを自分で決め、現場を動かさなければならぬため、責任から不安になることもあります。しかし、間伐により明るくなった森林の、この先の成長を想像すると、今日も頑張ろう！と思えてきます。自分の仕事が、森林として長く残っていくことにやりがいを感じます。

初めて森林官となり、地域の方と協力して管理している森林の公売が終わったある日、地元の方がいらして、「父が植えた山の手入れによく連れて行かれた。頑張って育てた山が評価されたんだ。ありがとう。」と、とても嬉しそうに話してくださいました。私に関わったのは、ほんの一部でしたが、そこに関わることができた喜びを感じました。ひとつひとつ丁寧な仕事を心がけ、関わった山全てに、胸を張れるよう努力しています。



管内の国有林から望む街